



こんにちは。令和2年4月1日より、多古中央病院敷地内にオープンした多古病児保育所です。多古町在住のお子さん、また、多古町で働く保護者の皆さまのお子さん（6ヶ月～小学6年生）を対象に、体調が悪くて学校やこども園・保育園に行けないお子さんをお預かりしています。

小児科医師のもと、看護師1名、保育教諭2名で保育をします。

病児保育所では、1日2回（午前・午後）小児科医師による回診があり、お子さんの体調に変化がないか診察していただきます。体調が安定している時は、満開の桜を眺めながらのお散歩もしました。お子さんの体調が回復し、「元気に学校やこども園に行けるように…」と願いながら、日々保育をしています。

保護者の皆さまに、安心してお子さんを預けていただけますよう、スタッフ一同、精一杯のチームワークで、関わっていきたくと思います。

今後とも、多古病児保育所へのご理解ご協力を、よろしくお願いいたします。

#### 【4月の利用状況】

気管支炎・・・3名

急性上気道炎・・・2名

初めての場所でしたが、好きな遊びを見つけて保育教諭と一緒に過ごすことができました。

#### 【利用登録手続きについて】

利用の希望日に、スムーズに保育ができるように、**事前登録**をしておきましょう。

一度の登録で小学6年生まで有効です。

登録は、多古町役場子育て支援課こども係へ

【こんな時、どうする?】…保護者の皆さまからの質問にお答えします。

Q、子どもの急な発熱、仕事は休めない、困ったな・・・

A、まずは、病児保育所にお電話ください。空き状況をお知らせします。

国保多古中央病院での受診後、利用案内の手順に沿って、手続きをお願いします。

病児保育所にてお子さんの病状などの問診を済ませ、必要な持ち物の確認をした後に、お子さんをお預かりします。

Q、病気の治りかけで体力が消耗している時に利用すると、新たな病気が感染してしまいそう・・・

A、感染の疑いがある場合は、保育室を別にして保育をします。使用したおもちゃや寝具・保育室は、十分な消毒を行い、他のお子さんからの感染が起こらないように細心の注意をしながら保育します。



#### 【国保多古中央病院 小児科 齊藤先生からのコメント】

子どもの風邪には、いくつかの種類があり、その時々で流行が変わります。

国保多古中央病院では、インフルエンザなどの感染症の迅速検査を積極的に実施して、なるべく早く正確な診断をすることを心がけています。

病児保育所を利用中に他の感染症にかからないように、保育室などの配慮をしていますので、ご安心ください。



### ●飛沫感染

咳やくしゃみをした時に飛び病原体を含む水滴(飛沫)を吸い込むことで感染します。マスクをして予防しましょう。

### ●空気感染

口から飛び出した病原体が空気の流れによって拡散し、感染します。はしかや水ぼうそうなどが該当します。ワクチンで予防しましょう。

### ●経口感染

口に入ったもので感染します。例えば、ノロウイルスなど、便中に排泄される病原体が、便器やトイレのドアノブを触った手から経口感染します。

## 手洗い

手洗いはかぜや感染症の予防にもつながります。外遊びの後、トイレの後、食事の前にはしっかり手を洗う習慣を付けましょう。

### きれいな 手の洗い方

 腕まくりをし、水道水で手を濡らします。	 石けんをしっかり泡立てます。	 手の平を合わせて洗います。	 手の甲を洗います。
 指と指の間を洗います。	 指先、爪の中を洗います。	 手首を洗います。	 石けんを流し、清潔なタオルで拭きます。

### ～注意事項～

☆保育中に病状が悪化し緊急を要するときは、保護者の了解を得ないまま病院受診し、治療が行われることがあります。また、保育の継続が困難となった場合は、予定時間前でもお迎えをお願いします。

☆予約があっても当日の病状で、保育不可と診断された時は、お預かりできません。

☆キャンセルは、できるだけ早めにご連絡ください。(利用当日 9 時 00 分まで)